



セーフコミニュニティいづみおおつ

本市では、国際認証制度であるセーフコミュニティ認証の取得を目指して、今年6月に活動開始を宣言しました。
ここでは、セーフコミュニティについて皆さんの理解を深めていただくための情報を届けします。

Vol.4 「対策委員会」 泉大津市の取り組む分野決定 !!

泉大津市 SC で取り組む分野

(平成 26 年 10 月 15 日決定)

交通安全

交通対策委員会

子どもの安全

子どもの安全対策委員会

高齢者の安全

高齢者の安全対策委員会

自殺予防

自殺予防対策委員会

犯罪・暴力の防止

犯罪防止対策委員会

災害対策

災害時の安全対策委員会



先進自治体の対策委員会の様子
(日本セーフコミュニティ推進機構提供)

連載第4回目となる「セーフコミニュニティいづみおおつ」のテーマは「対策委員会」についてです。

前回はセーフコミニュニティに取り組む体制についてのお話でしたが、今は体制の中でも、対策委員会について取り上げます。

対策委員会は、安全・安心に関する本市の重点項目となる分野に対して、具体的に取り組みを実施する組織です。セーフコミニュニティは、分野や組織を越えた協働の取り組みがポイントとなりますので、対策委員会の

構成は、地域の課題をよく知る団体や福祉関係など特定の課題に対する従来から活動している団体、警察や消防など重点項目に関する行政機関、学識経験者などがメンバーとなります。

事故やけがに関する統計データと市民アンケートを基にした地域診断により、本市の重点課題を明らかにし、優先的に取り組むものを決めて対策委員会を設置しますが、本市では6つの対策委員会が決まったところであります。(図)

対策委員会では、ワークショップや会議を通じて、これまでに各団体で実施している取り組みや委員の皆さんを感じる課題などを共有して、より効率的で効果的な取り組みとなるよう改善の余地がないかを考えることがはじめの一歩となります。また議論を重ねていくことで、新たな連携や独自の取り組みが生まれることも期待できます。

今後の連載では、それぞれの対策委員会の取り組みについても取り上げていきます。

問合

危機管理課(市役所4階)

日本セーフコミニュニティ推進機

構代表理事・白石陽子氏のコメント

「対策委員会」では、さまざまな組織や団体、個人の皆さんがまさにフラットな関係のなか、協働で泉大津市の安全課題について議論し、対策を企画・実践・評価します。時に、議論がなかなか進まないこともありますが、それも課題解決のためのプロセスです。地域の力を結集して取り組むことで、泉大津市ならではの解決策ができるところを期待しています。